

令和 7 年度の実施事業について

対策 1 再エネ電気メニューへの切替

内容：かづのパワーが再エネ電源を確保しながら地域の再エネを供給し、電気由来の CO2 を削減します。

削減目標：4.62 万 t-CO2、対策目標：市内電力需要の 50%、約 8,700 万 kWh の切替

＜実施予定＞

①かづのパワーの電源確保

かづのパワーの地産地消電源の確保に取り組む。

②再エネ電気メニューへの切替促進

かづのパワーとの契約施設、家庭の増加に努める。

③地域向け電源の導入促進（再エネ推進交付金事業）

地域脱炭素移行・再エネ推進事業（重点対策加速化事業）を活用し、かづのパワーへ供給する「地域向け電源」確保のため、市有地及び促進地域内の民有地で太陽光発電を実施する事業者を新たに公募する（4 件程度を想定）。

対策 2 自家消費型再エネ電源の導入

内容：自家消費型の太陽光、木質バイオマスコジェネを導入し、電気由来の CO2 を削減します。

削減目標：0.63 万 t-CO2、対象目標：太陽光 10,000kW、木質バイオマス 320kW

＜実施予定＞

①再エネ設備の導入支援（再エネ推進交付金事業）

引き続き市民・企業の自家消費型太陽光・蓄電池の導入に係る初期費用を補助する（個人 10 件、事業者 4 件程度を想定）。

対策 3 EVへの切替

内容：EVに必要なインフラを整えることで、EVへの切り替えを進め、動力由来のCO₂を削減します。

削減目標：1.19万t-CO₂、対策目標：市内車両の20%、旅客3,700台、貨物1,300台

新目標：0.05万t-CO₂、対策目標：300台（うち2025年度 31台）

削減推計値：4月に令和6年度EV販売台数を調査予定

＜実施予定＞

① コムスを活用したEV体験会の開催

引き続きコムスを活用したEV体験会・展示会を開催し、EV購入の意識醸成を図る。

② 公共施設への充電設備の導入調査

民間業者より、公共施設への普通充電器の無償設置の提案がなされていることから、設置施設、方法等の調査を行う。

対策 4 省エネ設備への更新

内容：省エネ機器への更新を進め、電気・熱由来のCO₂を削減します。

削減目標：0.2万t-CO₂、対策目標：市内電力需要の2%、約370万kWh/年

＜実施予定＞

① 省エネ診断の推進

新たに2施設について省エネ診断を実施し、成果を公表し市内事業者の省エネ診断実施を啓発する（十和田市民センター、尾去沢中学校を予定）。

② 省エネ設備への更新

高効率な空調、給湯、調光機能付き照明設備の更新に対する補助制度を実施する。

（個人70件、事業者20件程度を想定）

対策 5 建物の熱対策

内容：断熱改修や ZEH、薪ストーブ、木質バイオマス熱利用機器の導入を進め、電気・熱由来の CO₂ を削減します。

削減目標：0.66 万 t-CO₂、対策目標：66 件/年の断熱改修、ZEH、薪ストーブ導入
木質バイオマス熱利用 3 件

＜実施予定＞

①木質バイオマス熱利用の導入支援（再エネ推進交付金事業）

家庭向けの薪・ペレットストーブの初期費用に対し補助する（10 件程度を予定）。

②住宅の断熱改修支援

住宅の断熱改修工事に対し補助を実施する（20 件程度を予定）。

対策 6 適切な森林管理

内容：森林経営管理計画を進め、間伐や伐採・再造林など適切な森林管理を継続し、森林吸収量を維持します。

削減目標：吸収量 14.8 万 t-CO₂ を維持

対策目標：森林経営管理計画のカバー率 100%

削減推計値：統計値未公表（近年の森林蓄材量から計算される推定吸収量は 16.5 万 t-CO₂）

＜実施予定＞

①森林経営管理推進事業

管理計画に基づく森林管理業務を実施する。

②再造林の推進

再造林等について補助を実施する。

③間伐の推進

搬出間伐について補助を実施する。

④林業人材の育成

林業大学生への家賃補助、新規就業雇用事業への補助制度を実施する。

対策 7 その他脱炭素行動の促進

内容：節電、クールビズ、節水、公共交通の利用、ごみの削減、低炭素商品の選択など、
CO2 削減行動に努めます。

削減目標：なし、対策目標なし。

＜実施予定＞

①ゼロカーボン協力事業者・市民の募集

脱炭素行動事業者の認定、ゼロカーボンサポーターの拡大など、引き続き市民の行動変容に向けた取組を進める。

②エネルギー関連産業の育成について

地元事業者の再エネフェアの視察及び検討会を開催し、水素に限らない地元企業のエネルギー関連産業への参入方法の模索をする。